

**高橋 美博 議員**

**袋井駅前代替駐輪場の改善を**

**問** 代替駐輪場の利用実態・動向把握をすべきでは。

**答** 袋井駅北側駐輪場の改修や南側駐輪場整備の基礎数値とするため、平成27年度に駐輪場需要検討業務を、昨年8月下旬から9月末にかけて1日のうちで駐輪台数がピークとなる午前10時から11時にかけて、駐輪台数の調査を実施。結果に基づき、袋井駅北側には600台、南側には400台規模の駐輪場を整備することとしたことから、改めて動向調査が必要とは考えていない。

**問** 利用者から雨よけ施設を求める声がある。市の対応は。

**答** 市からどまんなか袋井まちづくり(株)に対して、敷地の一部に雨天時のかつばの着脱できるスペース設置を強く要望しており、現在、地権者への説明を含め、設置に向けて準備をしている。



袋井駅前代替駐輪場

**問** バイク等の利用者から、民間の屋根付き預かり所のおっせんを求める声も寄せられている。市の対応はどうか。

**答** 袋井駅周辺には1カ所のみで台数も限られることからおっせんは難しい。電車利用の方には、若干遠方にはなるが屋根付き駐輪場が整備されている愛野駅の南北駐輪場の利用を引き続き案内していきたい。

**竹野 昇 議員**

**袋井市独自の  
高齢者定義を提案**

**問** 国や県の高齢者の定義は65歳以上であり、対外的な公式発表では65歳以上とせざるを得ないが、袋井市内部における各種文書や市長あいさつなどでは、66歳以上75歳までを熟年者と表現し、76歳以上を高齢者と定義してはどうか。医療の発達、各自が健康寿命を延ばす努力、社会の変化で65歳以上を高齢者と定義するのは時代に合っていない。元気に活躍されている人にとって、高齢者呼ばわりされるのは不愉快、歓迎せざる表現だと思いが。

**答** 袋井でこういう刻みをつくったらどうかという提言があったので、さまざまな機会でも多方面の皆さん方とそついつ刻みが1自治体にとって相当有益であるのかどうか、議論を深めべき問題だと思っているの、真摯に受け止めます。



工業用地開発計画がある土橋の農地

**土橋工業用地開発計画**

**問** この地域は農業振興地域に指定され、農林水産省のホームページに農振地域は転用禁止と書かれている。6月議会に出されている条例案では、美しい景観・豊かな自然環境の保全がうたわれている。開発計画と矛盾するが、当局の考えは。

**答** 条例は直接工業用地開発計画と関わりは持っていない。